エコアクション21

環境活動レポート

対象期間

令和３年１１月１日～令和４年１０月３１日

当社施工例：田迎団地２Ｃ－１棟外壁その他改修工事

令和５年　６月　７日作成

株式会社　志賀塗装

環境方針

〔基本理念〕

株式会社　志賀塗装は、社会的責任を自覚し、住みよい社会環境作りに貢献し、誠実本位で創意工夫に努め、法規制要求事項を遵守し、環境負荷低減に全社員一丸となって取り組み、循環型社会の構築に寄与します。

〔基本方針〕

当社は、環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ、全社員一丸となって取り組みます。

１．当社の主力事業である塗装工事事業を通じて、環境に与える影響を低減するとともに、自然環境と調和した循環型社会の実現に努めます。

① 省エネルギー活動として、事務所及び作業所での電気使用量の削減と二度手間等による燃料のロスの削減に努め、二酸化炭素排出量の低減に取り組みます。
② 省資源活動として、工具洗浄等の水とシンナーの使用量の削減に取り組みます。
③ 分別管理を徹底し、廃棄物の削減とリサイクルに取り組みます。
④ 地球環境に配慮した商品の設計及び施工に努めると共に、顧客への提案に取り組みます。
⑤ グリーン製品の購入拡大に取り組みます。
⑥ 化学物質の適正使用及び適正管理に取り組みます。
⑦ 従業員の高齢化に対応し、事業継承を進めることで高い業務品質の維持に努めます。
⑧ 環境経営の継続的改善を実施します。

２．事業活動に関する環境法規類及びその他の要求事項を遵守します。

３．環境方針は、全社員に周知するとともに環境教育を行い、社員の環境に関する意識の向上を図り、環境保全活動に取り組みます。

令和３年９月１日改定

株式会社　志賀塗装
代表取締役　志賀啓章

１．事業所の概要

(1) 事業所名

株式会社　志賀塗装

代表取締役　志賀啓章

(2) 所在地

本　社　：熊本県熊本市東区長嶺南 2 丁目 2 番 63 号

営業所　：福岡県福岡市西区石丸 3 丁目 284 番 3 号

（１名、営業のみ）

(3) 事業内容

塗装工事業、左官工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業

板金工事業、防水工事業、内装仕上工事業、とび・土工工事業

建設業許可

国土交通大臣許可　　（般―１）　第　２０８０５号

(4) 事業の規模

項目	単位	令和３年度	令和４年度
売上高	百万円	２８４	２６６
資本金	万円	２，０００	２，０００
社員数	人	１５	１５

昭和　２年１１月２０日　創立

昭和４４年　１月　６日　法人設立(有)

平成　２年　５月２５日　　〃　(株)

平成１６年　４月　１日　新設　福岡営業所

(5) 会計年度

期首：１１月　　期末：１０月

(6) 認証登録範囲（対象とする組織及び活動）

株式会社志賀塗装における全組織、全活動を対象とする。

（上記(1)、(2)、(3)に記載）

登録番号：0009569　　登録日：2013 年 8 月 15 日

２．環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理者名　　辰巳栄一

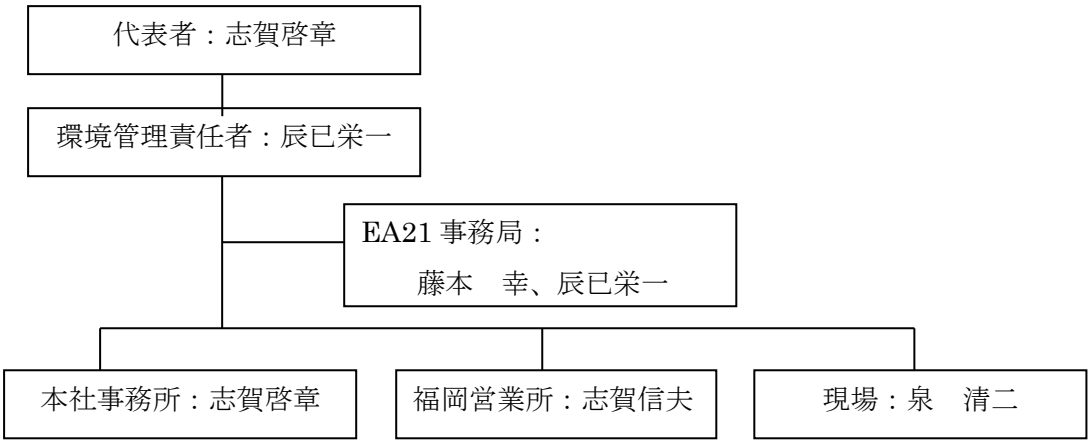
連絡担当者名　　藤本　幸

電話　096-384-7111　　FAX　096-382-3441

メールアドレス　mail@shiga-tosou.jp

３．実施体制

１）環境組織



2)責任と権限

代表者	①環境経営の最高責任者
	②環境方針の制定、環境目標及び環境活動の承認
	③環境経営システムの評価、全般的な見直し
	④環境管理責任者を定める。
環境管理責任者	①環境経営システム全体の構築・運営の責任者
	②環境目標、環境活動及び環境活動計画の確認、指示
	③各部門の環境活動の指示及びフォロー
	④教育と訓練の総括
	⑤環境経営システム実績等の評価及び代表者への報告
EA21 事務局	①環境管理責任者の代行及び環境活動の全社的な推進
	②環境負荷の取りまとめ
	③環境文書発行・管理の実務
	④その他、EA21 事務全般
社　員 （各部門）	①環境方針、目標の理解
	②環境活動の理解と実施
	③環境法規制の遵守
	④緊急事態の予防策、対応策の実施
	⑤内部コミュニケーションの実施
	⑥改善の為の提案

４．環境負荷の実績と中期環境目標

１）中期環境目標

項目	環境目標			
	令和元年度 実績・（基準）	令和３年度 △１％	令和４年度 △２％	令和５年度 △３％
電気使用量削減	5,158 kWh	5,106 kWh	5,055 kWh	5,003 kWh
ガソリン使用量削減	12,743 L	12,616 L	13,894 L	13,751 L
軽油使用量削減	1,291 L	1,278 L	1,265 L	1,252 L
CO2 排出量削減	35,370 kg-CO2	35,017 kg-CO2	34,663 kg-CO2	34,309 kg-CO2
産業廃棄物 廃油排出量削減	2.0ｔ	1.98ｔ	1.96ｔ	1.94 ｔ
水使用量削減	128L	127L	125L	124L
グリーン購入増加	ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進
有機溶剤の 適切な管理	適切な管理状況確認 １回／週	適切な管理状況確認 １回／週	適切な管理状況確認 １回／週	適切な管理状況確認 １回／週
顧客への 環境意識啓発	溶剤から水性塗料への推奨 ２件／年	溶剤から水性塗料への推奨 ２件／年	溶剤から水性塗料への推奨 ２件／年	溶剤から水性塗料への推奨 ２件／年
工事現場での 環境配慮	環境活動を実施	当社が現場で守るべき環境活動を実施	当社が現場で守るべき環境活動を実施	当社が現場で守るべき環境活動を実施

九州電力：令和２年度 CO2 調整後排出係数 0.480 kg-CO2/kWh を使用

２）短期環境目標　（令和３年１１月～令和４年１０月）と実績

項　　目	令和元年度実績 （基　準）	令和４年度 目　標	令和４年度 実　績	達成度
電気使用量削減	5,158 kWh	5,055 kWh	5,691 kWh	89%
ガソリン使用量削減	12,743 L	12,488 L	11,276 L	111%
軽油使用量削減	1,291 L	1,265 L	177 L	715%
CO2 排出量削減	35,370 kg-CO2	34,663 kg-CO2	29,349 kg-CO2	118%
産業廃棄物 廃油排出量削減	2.0 t	1.96 t	3.0 t	65%
水使用量削減推進	128 L	125 L	121 L	104%
グリーン購入推進	ｸﾞﾘｰﾝ購入の実施	ｸﾞﾘｰﾝ購入の推進	ｸﾞﾘｰﾝ購入の実施	100%
有機溶剤の適切な管理	適切な管理状況 1 回／週確認 実施	管理状況確認 1 回／週	適切な管理状況 1 回／週確認 実施	100%
顧客への環境意識啓発	溶剤から水性塗料へ 2 件／年 推奨実施	溶剤から水性 塗料への推奨 2 件／年	溶剤から水性塗料へ 2 件／年 推奨実施	100%
工事現場での環境配慮	環境活動を実施する事が出来た。	当社が現場で守るべき環境活動を実施	環境活動を実施する事が出来た。	100%

※目標達成度に応じた処置

是正処置：80%未満　　予防処置：80%以上、90%未満　　経過を見る　90%以上、100%未満

５．環境活動計画の実施状況の評価

項　目	推進責任者	具体的な活動	事務所	営業所	工事
電気使用量削減	事務所：藤本　幸 営業所：志賀信夫 工事：泉　清二	使用しない照明の消灯（毎日）	○	○	○
		冷暖房設定温度の厳守 冷房 25℃　暖房 25℃（毎日）	○	○	－
		OA 機器の退社時の電源オフ（毎日）	○	○	－
		空調機フィルターの定期的清掃（12 月）	○	○	－
ガソリン・軽油使用量削減	事務所：藤本　幸 営業所：志賀信夫 工事：泉　清二	アイドリングストップの推進（毎日）	○	○	△
		経済運転の推進（急発進、急停止の禁止）（毎日）	○	○	△
		車両点検の実施（適時）	○	○	○
		前準備の徹底	－	－	△
		不要な荷物を積まない（毎日）	○	－	△
産業廃棄物廃油排出量削減	工事：泉　清二	産業廃棄物の分別の徹底（適時）	－	－	○
		水性塗料の推進（適時）	－	－	○
		産業廃棄物置場の適正な管理（掲示）	○	－	○
水使用量削減	事務所：藤本　幸 営業所：志賀信夫	節水の推進（毎日）	○	○	－
		節水ステッカーによる目で見る周知（毎日）	○	○	－
		水系への環境負荷物質の漏洩防止（毎日）	○	○	－
グリーン購入増加	事務所：藤本　幸 工事：泉　清二	エコ商品表示商品の購入推進（毎日）	○	－	－
		詰め替え可能な商品の購入推進（適時）	○	－	－
		環境対応型製品の情報収集（適時）	○	－	○
有機溶剤の適切な管理	工事：橋口　敬介	適切な回収手順の徹底（随時）	－	－	○
		漏洩防止の徹底（適時）	－	－	○
		環境法規の遵守（適時）	－	－	○
顧客への環境意識啓発	事務所：藤本　幸 営業所：志賀信夫 工事：泉　清二	水性塗料の販売推進（適時）	△	△	－
		顧客への環境配慮製品の提案（適時）	○	○	○
工事現場での環境配慮	工事：泉　清二	工事前の事前説明の実施（適時）	－	－	○
		顧客、地域とのコミュニケーション確保（苦情、要望の適正処置）（適時）	－	－	○
		適切な工事手順の徹底（随時）	－	－	○
		顧客への環境配慮工事の提案（適時）	－	－	○
		工事完了の確認	－	－	○

※評価基準：○：できた　△：改善の余地あり　×：実施できなかった　－：対象外

６．短期環境目標の実績評価と今後の活動

（運用期間：令和３年１１月～令和４年１０月）

項目	基準値	目標値	実績	達成度
電気使用量削減	5,158　kWh	5,055　kWh	5,691　kWh	89%
（CO2 排出量）	（2,476kg-CO2）	（2,426kg-CO2）	（2,732kg-CO2）	
（評価と今後の取組内容） 環境目標を下回った。こまめな節電を行なっていたが、エアコンの使用量が関係していると思われる。 今後も不要な電気をこまめに消す等の活動を継続する。				
ガソリン使用量削減	12,743　L	12,488　L	11,276　L	111%
（CO2 排出量）	（29,564kg-CO2）	（28,972kg-CO2）	（26,160kg-CO2）	
（評価と今後の取組内容） 環境目標を達成した。今後もエコドライブ等の活動を継続する。				
軽油使用量削減	1,291　L	1,265　L	177　L	715%
（CO2 排出量）	（3,331kg-CO2）	（3,264kg-CO2）	（457kg-CO2）	
（評価と今後の取組内容） 環境目標を達成した。軽油の車輌の利用の減少が要因と見られる。 今後もエコドライブ等の活動を継続する。				
CO2 排出量削減	（35,370kg-CO2）	（34,663kg-CO2）	（29,349kg-CO2）	118%
（評価と今後の取組内容） 環境目標を達成した。昨年同様軽油の使用量が大きく削減された事が要因と見られる。				
廃油排出量	2.0　t	1.96　t	3.0　t	65%
（評価と今後の取組内容） 環境目標を下回った。廃油の減少出来るよう社員に意識付けを徹底する。				
水使用量削減	128 L	125 L	121 L	104%
評価と今後の取組内容） 目標を達成した。 日頃節水を心がけている。 今後も、節水を心がける。				

<table>
<tr><th>項目</th><th>基準値</th><th>目標値</th><th>実績</th><th>達成度</th></tr>
<tr><td>グリーン購入増加</td><td>ｸﾞﾘｰﾝ購入の実施</td><td>グリーン購入の推進</td><td>グリーン購入の実施</td><td>100%</td></tr>
<tr><td colspan="5">（評価と今後の取組内容）
文具や備品の購入の際にはグリーン購入法の適合品があれば、可能な限り適合品を購入した。今後も継続する。</td></tr>
<tr><td>有機溶剤の適切な管理</td><td>有機溶剤の適切な管理</td><td>適切な管理状況確認　1回／週</td><td>適切な管理状況1回／週確認実施</td><td>100%</td></tr>
<tr><td colspan="5">（評価と今後の取組内容）
週1回の定期的な確認も実施されており適切な管理状況にある。
今後も適切な管理を継続していく。</td></tr>
<tr><td>顧客への環境意識啓発</td><td>顧客への環境意識啓発</td><td>溶剤から水性塗料への推奨
2件／年</td><td>溶剤から水性塗料へ2件／年推奨実施</td><td>100%</td></tr>
<tr><td colspan="5">（評価と今後の取組内容）
住宅の屋根や外壁に関しては、水性塗料への積極的な啓発活動を続けていて目標達成とする。
今後も積極的に啓発していく。</td></tr>
<tr><td>工事現場での環境配慮</td><td>工事現場での環境配慮</td><td>当社が現場で守るべき環境活動を実施</td><td>環境活動を実施する事が出来た。</td><td>100%</td></tr>
<tr><td colspan="5">（評価と今後の取組内容）
養生の徹底で粉塵・塗料の飛散等の環境配慮を行った。苦情報告も無く目標は達成できた。
今後も定着化へ向けての社員の意識付けを徹底する。</td></tr>
</table>

７．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

遵守評価は環境法規制登録表で実施し、その結果環境関連法規への違反はありません。

対象法規類

１．労働安全衛生法　２.水質汚濁防止法　３．家電リサイクル法

４．小型家電リサイクル法　５．自動車リサイクル法　６．廃棄物処理法　７.消防法

なお、訴訟や関係当局からの指摘や行政指導は、過去３年間ありません。

８．代表者による全体評価と見直し

短期環境目標の実績評価で電気使用量と廃油排出量が目標を下回ったが、他の項目は目標を達成出来たので、今後も引き続きさまざまな改善に取り組み、且つ目標達成に向けて検証し、改善が必要だと思われる。

社員への情報開示での意識付け等、今後も継続して取り組んでいきたいと思う。

見直し結果

項　　目	見直し結果
環境方針	継続していく。
環境目標、環境活動	環境目標は令和元年度を基準目標とする。
環境組織の実施体制	実施体制見直しを実施。変更はなし。
その他の仕組み、取組	令和５年度末まで継続していく。

令和５年１月１０日

代表取締役　志賀啓章